

# 自 民 富 山

## 第 3 9 号

自由民主党富山県連広報委員会  
委員長 稗 苗 清 吉  
発行日 平成 20 年 1 月 1 日  
印刷所 中 村 印 刷 工 業 (株)

### 新年のご挨拶

自民党県連会長 長 勢 甚 遠  
衆議院議員



### 信頼される、足腰の強い自民党へ

新年明けましておめでとうございます。黨員・党友ならびに友好団体の皆様には健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私も元気で新年を迎えることができました。昨年は法務大臣を務めることができました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今年は昨年参院選挙に敗北した富山県連にとって立て直しを期す重要な年であります。私も先頭に立って誠心誠意努める所存でありますので、ご理解、ご支援のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は県会議員選挙、参議院選挙が行われ、皆様には大変ご苦勞をおかけし厚く御礼申し上げます。皆様の多大なるご支援、ご協力にもかかわらず、参院選挙において野上浩太郎候補を当選させることができなかったことは誠に残念で申し訳ないことであり、責任を痛感しており、深くお詫び申し上げます。県連として黨員の皆様のご意見を踏まえ、昨年末に、参議院選挙を総括し今後の活動の在り方について「自民党富山県連の立直しに向けて」を決定しました。信頼される、足腰の強い県連への立直しを実現することは急務であります。立直しを実現し県民の安全安心の確保と希望のもてる地域づくりの責任を果たしていかなければなりません。そのためには県連をお支えいただく皆様のご理解、ご協力が不可欠であります。皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

参院選挙の敗北により安倍内閣が退陣し福田内閣が発足しました。自民党は参院選挙敗北の反省に立って「安定した国造り」を目指し、国民の声に耳を傾け、生活重視、地方重視の政策づくりに全力を尽くしております。年金、医療、少子化など山積している諸課題、農業者、中小企業者、建設関連業者などからの強い政策要求にこたえてまいります。また自分さえよければいい、儲かりさえすればいいというおかしな社会になってきています。将来に向けて活力ある日本の再生のために自民党の果たすべき役割は大きくその期待にこたえていかなければなりません。

しかし、国会はいわゆる「ねじれ国会」となり、民主党は政策協議に応じない方針をとっているため、政局は極めて先行き不透明な状況にあります。いつ解散総選挙になるやもしれない情勢です。次回総選挙は県連の基盤を守っていく上で正念場となる選挙です。何としても勝ち抜かなければなりません。自信と誇りを持ってさらに日常活動を強化し、一致団結し、何としても勝利を勝ち取るうではありませんか。よろしくお願ひ申し上げます。終わりに、今年が皆様にとりましてすばらしい年となりますことをお祈りして、新年のご挨拶といたします。

### 地元国会議員 今年の抱負

#### 豊かな生活に向けた環境整備を

衆議院議員 萩山教嚴



日本社会の最大の関心事の一つとして社会保障制度

がある。七十五歳以上が国内総人口の二割になった。併せて少子化も進んでいる。財政健全化を進めながら、持続可能な社会保障制度を構築し、安全で安心な豊かな生活に向けた環境整備に取り組んで参ります。

#### 夢や希望の持てる国づくりを

衆議院議員 宮腰光寛



夢や希望の持てる国づくりを推進する。まずは日々の暮らしを取り戻す。

暮らしに安心感を取り戻す。そのためには雇用の安定や地方の活性化をはかる。国の礎は農林水産業である。食の安全を確保し、消費者も生産者も安心できる農政を確立するため努力する。

#### 地方自治体の財政健全化に向けて

参議院議員 河合常則



ねじれた国会の運営、審議が少しでも動くように、参議院総務

委員会と党筆頭理事として役割を自覚して頑張りたい。地方自治体の財政が少しでも良くなるように、全ゆる知恵を使って、人脈を頼って努力したい。富山県に仕事があるように。更に、県土連、山林協会の立場も大切にして、中山間地の振興に力をそそげば、平野部も海も良くなる事を信じて頑張りたい。

### 今後の県連の取り組み

#### 県民の安全安心の確保と希望の持てる地域づくり



▼ 県民の安全安心の確保と希望の持てる地域づくり  
黨員党友の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は、皆様から、選挙をはじめ各活動に多大なご協力を賜り本当にありがとうございました。

#### 県連立直しのスタート

昨年八月以来、県連の各機関において、「信頼される自民党 足腰の強い自民党を目指して」熱心にご協議を頂き、十二月十五日開催の支部長・幹事長・事務局長会議において、一、選挙に関する事、二、今後の党活動に関する事、の二項目からなる県連立直し案が了承されました（別紙に全文掲載されております）。本年はそれを実行する年であり、皆様の格段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

#### 県民の安全安心の確保と希望の持てる地域づくり

昨年実施された県政世論調査において、県政への要望の第一位は「医療の充実」、第二位は「景気対策」でありました。この切実な要望に対し、自民党県連は、きちんとお応えしていかなければなりません。特に、要望実現には財源が不可欠であり、県連は、県選出国会議員と共に、地方税財源の確保・充実や北陸新幹線建設の地元負担の軽減等の要請活動を行ってまいりました。ま

#### 勝つ選挙態勢づくり

本年行われる各級選挙において、党公認・推薦候補者は必勝しなければなりません。しかし昨今の政治社会情勢を見れば、厳しい覚悟で臨まなければならぬことは言うまでもありません。候補者本人の真摯な日常活動が基本ですが、それに加えて後援会と自民党がきっちり歯車を噛み合わせ必勝態勢を構築することが肝要であると思っております。

#### 結び

県連立直しが画餅に帰すことがないよう、県連執行部一同、懸命に真剣に取組みます。黨員党友の皆様と共に自民党県連再生の一年にしていこうではありませんか。何卒、皆様の叱咤激励とご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、本年一年の皆様のご健勝とご活躍、ご多幸をお祈り申し上げます。

### 自民黨員募集!

自民党は黨員を募集しています。詳しくは、お近くの自民党支部又は自由民主党富山県支部連合会まで  
〔自由民主党富山県支部連合会〕  
〒930-0095 富山市舟橋南町3-15 TEL 076-432-2520 <http://www.jimin-toyama.jp/>



### 平成20年度執行予定 選挙一覧

首長選挙				議会議員選挙	
魚津市	任期 5月9日	砺波市	任期 11月27日	魚津市	任期 5月9日
富山県	任期 11月8日	南砺市	任期 11月27日	南砺市	任期 11月27日

## 平成二十年度 県予算に対する 要望事項を石井知事へ申し入れ

自民党富山県連政務調査会及び同県議会議員会では、十二月六日、石井知事に対して、地域支部、友好団体からの要望一、三九二項目と、さらに絞った重点要望十項目を申し入れた。

- ① 自立した地方の形成  
(地方税財源の確保とさらなる行革の推進)
  - ② 安心できる医療福祉施策の推進  
(医師・看護職員・介護従事者の確保、医療制度の改革、高度先進医療体制の充実)
  - ③ 子育て施策の推進  
(経済的負担の軽減、地域全体で支援する体制整備)
  - ④ 総合交通体系の整備  
(新幹線・並行在来線等の整備、道路整備の促進、交通・物流ネットワークの充実)
  - ⑤ 地域経済の活性化  
(観光戦略の樹立、中小企業・建設業の安定経営に向けた支援、企業立地の促進)
  - ⑥ 農林水産業の振興  
(農業生産の振興と食のブランド化、中山間地域の活性化、都市と農山漁村の交流推進)
  - ⑦ 教育・スポーツ・文化の充実  
(いじめ・不登校対策の充実、高校再編の早期具体化)
  - ⑧ 人材の確保と就業の支援  
(企業の人材確保、若年層の雇用対策の推進)
  - ⑨ 犯罪や災害に強い安全な暮らしの確立  
(地震等防災対策の強化、信頼される警察官の育成)
  - ⑩ 豊かで快適な環境の確保  
(環日本海の環境保全の推進、地球温暖化対策、県民全体で支える森づくりの推進)
- また、緊急要望として、「原油・原材料高騰、住宅着工減への実効性ある中小企業対策や農林水産業対策」について強く要請した。



## 青年局・青年部・女性部 北信越ブロック会議

### 北信越ブロック会議へ参加!!

2007・11・28～29



十一月二十八日～二十九日、青年局・青年部・女性部北信越ブロック会議(五県持ち回り)が本年の当番県である長野市内で開催されました。会議には党本部から井上 信治青年局長、有村 治子女性局長、各県代表が出席しました。

**青年局・青年部会議**  
青年局・青年部会議では、日常的な組織活動の展開や無党派層や若年層に対するの広報・イメージ戦略の強化などを協議しました。

**女性部会議**  
女性部会議では、参議院選挙の総括と次期衆議院選への取り組み、来年の政策テーマ等について活発な意見が出されました。全国のブロック会議や「子どもHAPPY プロジェクト」によって女性部から出された政策提言は着実に政策・予算に反映されています。その項目の一部は左記のとおりです。

- ・ 児童手当の対象年齢の引き上げ(小学六年生まで)
- ・ 妊産婦健診費用の負担軽減(五回まで無料に引き上げ)
- ・ 育児休業給付金の引き上げ 等々

## 富山県地方議員 連絡協議会

### 定例総会 二五〇名が出席

富山県地方議員連絡協議会は、十一月五日富山第一ホテルで定例総会を開催した。総会には、県議会・市町村議会の自民党議員と自民党系無所属議員約二五〇人が出席した。議事では、十八年度の収支決算報告や次年度国・県予算に対する重要要望事項などが説明され、総会終了後、椎葉茂樹富山県厚生部長に「地域医療の現状と課題」と題して講演していただいた。



## 女性部

### 「家族・地域のきずな」フォーラムに参加

2007・11・18

女性部では、十一月十八日に富山市で開催された子育てを支える「家族・地域のきずな」フォーラム全国大会に三十五名が参加しました。今年から十一月の第三日曜日が「家族の日」と定められ、この催しは運動の一環として内閣府と富山県が初めて実施したものです。

当日は上川 陽子少子化担当大臣も出席されました。講演・分科会・パネルトークなどが行われ、参加者は子育てにおける家庭や地域の役割や、支援のあり方などに理解を深めました。

## 富山市連 青年局・部

### 防衛省 “市ヶ谷台ツアー” は昭和の激動史

2007・11・26



十一月二十六日、富山市連青年局の研修で防衛省を視察しました。都心にありながら、広大な敷地に真新しい庁舎が立ち並ぶさまは、制服自衛官が闊歩し、グラウンドで訓練をするなど、その秘密性に比して、なお開放性を感じるどころでした。また、三島由紀夫が自決をした市ヶ谷記念館(旧大本営)では、戦後を決定付けた所謂東京裁判が行われた大講堂と展示品が、戦後六十年を過ぎなお、我が国が平和であり続けられる理由を語っていました。

その後、PKO活動についての講演を拝聴し、国会が新テロ特措法で混乱する中、平和の根幹を支え、普通の国を任じ国際社会での責任を果たすためには自衛隊の責務が重要と感銘しました。ともあれ、我が国が国民統制のもとその責任を果たし、また災害派遣においても、その役割を発揮されることを望みます。

## 編集後記

### 年四回の自民富山の発行と 県連ホームページの充実を!!



十一月一日、北日本新聞社 常務取締役編集局長の土井均氏を講師に、広報研修会を開きました。土井氏からは、

自民富山の先号を見て、見出しの付け方が悪く読者を引き付けられないなど厳しいご意見をいただきました。編集委員一同、編集会議の回数を増やし、読んでもらえる自民富山となるよう努力していきます。また、講演で土井氏からは、手配りして党員とコミュニケーションをはかることが政党の広報誌発行の原点であるところのご指摘もいただきました。各地域で配布していただいている役員の皆さんには、今後ともご協力をお願いします。

広報副委員長 五十嵐 務